

小学校での英語活動

●教育指導課指導係 0824-73-1184

市内の全小学校では、児童の国際理解と「コミュニケーション能力の育成のため、1年間を通して「総合的な学習の時間」などを活用し、ALT(外国語指導助手)を招いた英語活動を実施しています。

コミュニケーション能力を高める取り組み

英語活動の内容は各小学校で考えられており、児童の発達段階に応じて、日常生活に身近な英語を扱い、英語に慣れ親しみ、あいさつ・歌・ゲームなどを通して自然に英語が話せるような学習を行っています。

小学校の児童は、様々な事柄に関する興味関心が強く、異文化に関するにも自然に受け入れられる時期にあります。このような時期に積極的に外国語(英語)に触れることは、コミュニケーション能力を育てるために大切であると考えています。活動の一環として招いている外国人講師は、英語活動の助手として授業に参加し、本場の英語を使った会話やゲームな

どの活動を通して、児童のコミュニケーション能力を高める役割を担っています。

ここでは、口和地域と高野地域の取り組みを紹介します。

研修活動を充実

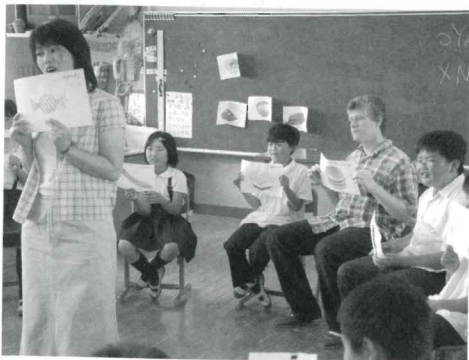
市では、よりよい英語活動を実施するために、英語活動推進委員会を設け研修活動を実施しています。また、小学校だけではなく各地域でも、幼児を対象にした取り組みや公民館での英会話教室などが行われています。

今後は、各小学校での工夫された活動と各地域の特色ある取り組みを連携させ、それぞれの良さを学び合う研修活動を実施し、英語活動の充実を目指していきます。

●口和地域での取り組み

口南小学校と口北小学校では、1・2年生は月1回程度、3年生以上は毎週1時間、英語活動を行っています。特に、月1回のネイティブスピーカー(英語を母国語とする人)を招いて生の英語に触れる機会も持ち、子どもたちは楽しみながら生き生きと取り組んでいます。

児童の一人は、「歌やゲームで、野菜や動物の英語の名前も分かるようになりました。お母さんに「これは英語でなに？」と聞かれても、すぐに答えられるようになりました。英語で会話ができるようになって、外国の人と話をすることが目標です」と感想を書いていた。



ALTのアーロンさんをまじえ、絵に書いた果物の名前をみんなで発音(口南小学校)

●高野地域での取り組み

高野地域では、「英語が話せる高野っ子の育成」を掲げ、高野中学校を中心に保育所・小学校・高等学校と連携を図りながら、英語活動・英語教育の充実を目指して取り組みを進めています。

特色として高等学校、小学校、保育所へのALTの派遣や高等学校英語教諭の中学校への乗り入れ授業を行っています。また、小学校、中学校でイングリッシュデー(一日英語を使って過ごす日)を実施し、県北の多くのALTにも協力していただき、クイズ、ゲーム、スポーツ、国際理解等を通じて英語への興味関心、英語力を高める取り組みを行っています。



カードに書いてある英語のクイズに答える生徒(高野中学校)



高野中学校2年 小瀧瑠奈さん

「イングリッシュデー」を終えて

イングリッシュデーの授業の中で会話に困ったとき、今まで授業で学んできたことが頭に浮かび、言葉が出てきました。うまく話すことができたことで、毎日勉強していることが生きているんだなあと思いました。